

2009 年度事業報告

1. 手賀沼浄化に係る提言と参画

「手賀沼浄化及び環境保全・整備について、美手連加盟各団体・関係市民団体及び手賀沼水環境保全協議会などの関係機関と協力・連携を強化し、進めます。」について

手賀沼水環境保全協議会(手水協)の一員として協力・連携を強化しました。

- 手水協事業「家庭からの排水抑制事業実施報告書」

手賀沼流域フォーラム全体会で「わたしができる浄化作戦」を印旛沼・手賀沼あっぷ協議会が報告発表しました。

- 手水協事業「手賀沼内に生息するハス群落調査」(事前調査)

ハス群落の拡大に改めて驚き、生物に対する影響、水質に対する影響を議論し次年度への継続課題としました。

- 「水循環回復行動計画に基づく協働調査からみえてきたこと」

手賀沼流域フォーラム全体会では小倉久子さんに流域全体の報告をしていただきました。勉強会では、我孫子のまとめを間野吉幸さんが、大堀川のまとめを青木保雄さんが報告し、美手連だけでなく多くの市民も含めて活動の意義を共有しました。また、専門家による生物調査と、手賀沼内の生物指標が必要であるとの問題提起がされました。

2. 統一クリーンディの充実

「手賀沼水環境保全協議会、県・市などの自治体及び他団体との連携や情宣の工夫により参加者の拡大を進めます。」について

12月6日(日)「第7回手賀沼統一クリーンディ」を開催しました。

柏地区、我孫子地区、沼南・下手賀沼地区の3地区で実施しました。千葉銀清風会(千葉銀の地域支店の現役ならびにOB)から100人を超える参加があるなど、一般市民、市民団体、行政等との連携により大きな成果をあげました。

- 柏地区

参加者は合計80名。内美手連の参加者は16名。(集合場所:柏ふるさと公園)

活動場所は柏ふるさと公園~大津川河口のひどり橋間の手賀沼畔(岸辺や遊歩道周辺)、ならびに大津川河口の両岸。この範囲を4班に分けて、葦原の中へも入ってゴミを集めました。

- 我孫子地区

参加者は350名。内美手連の参加者は40名。(集合場所:手賀沼公園)

活動場所は「根戸下」の沼岸約2km。事前準備(柏整備事務所による草刈、梯子6脚新規購入、長靴の大量購入)により多くの参加者で清掃活動に効果を挙げました。

沼岸の清掃は3年目になり、我孫子市の「ふれあい清掃」とよい形で連携ができてきました。

- 沼南・下手賀沼地区

参加者は合計で108名。内美手連の参加は35名。(集合場所:道の駅・しょうなん)

活動場所は手賀川(車分乗で移動)7班に分かれてゴミの収集を行ないました。

3. 手賀沼流域の生態系を復活させるための取組み

「加盟団体で行われている水生生物再生事業について、ともに調査・研究を進めます。また、外来生物（ブラックバス・ブルーギル・ナガエツルノゲイトウ等）の調査・除去を検討します。」について

- (1) 手賀沼にマシジミガシャモクを復活させる会（以下 マシジミの会）主催の勉強会に参加
「手賀沼の二枚貝（マシジミ・ドブガイ）などの生息状況と千葉県における外来種二枚貝について」講師千葉県立中央博物館上席研究員黒住耐二さんの話を聞きました。
- (2) 特定外来生物（ブラックバス）の産卵調査へ参加
手賀沼水生生物研究会（以下 手水研）による調査に各団体や行政が参加しました。この調査は、アルバトロス・ヨットクラブ（以下 ヨットクラブ）が協力して実施されました。
- (3) 「手賀沼は宝物～みんなで守り育てよう～」 白鳥孝治さんの講演会を開催しました。
- (4) 金山落での魚類と植物との専門家による調査
流域フォーラム事業で白井市今井の里および金山落での植物、水生生物、水質の調査を市民とともに行ない、外来生物が多数確認されました。
- (5) 特定外来種の勉強会
手水研の半沢裕子さんから魚の話を、マシジミの会の竹中真里子さんから手賀沼の水草の話を聞きました。
- (6) 流域フォーラム事業でシンポジウムを実施
「生物多様性ちば県戦略一里沼としての手賀沼」を中村俊彦さん、「2年間の魚類調査活動と外来種問題」を鈴木盛智さんが基調報告しました。
- (7) 宍塚で見学会を開催し、情報交換を実施
宍塚大池（茨城県土浦市）を囲む100ヘクタールの里山保全活動を勉強してきました。
- (8) NECの四つ池の調査に参加
手水研主催のNEC我孫子事業所内四つ池の環境保全・復元勉強会に参加しました。
絶滅危惧種オオモノサシトンボをはじめアサザ等が残っていますが、ブラックバス、ブルーギルが生息し、このままでは貴重種の絶滅が予想されます。
- (9) 流域フォーラム事業による印西市亀成川上流古新田川と、調整池の見学会に参加
千葉県河川環境課、UR都市機構も参加し、説明を受け河川の工事現場視察をしました。
住民から出た要望の①護岸における外来植物 ②測溝における段差 については、改善は可能との事でした。

4. 手賀沼とその流域に関する情報提供や広報

「ホームページのリニューアルについて検討します。また加盟団体と連携して、刊行物出版等により、手賀沼に係わる情報を広く提供していきます。」について

- ホームページのリニューアル ブログ形式でニュースを配信する体制が出来ました。
- 柏地区新聞販売店東口店主会による ～ 手賀沼をきれいにしようお手伝いキャンペーン ～
11月より、美手連を応援するチラシが柏駅東口方面に27,000部毎月15日に配布されるよ

うになりました。統一クリーンディの全体チラシも無償で配布されました。

5. 次世代に対する環境学習事業について

「子どもたちが手賀沼にふれる機会を増やし、『手賀沼』を伝えていきます。」について

(1) 流域フォーラム企画の中で実施

我孫子野鳥を守る会主催「手賀沼（親子）観察会」、我孫子市消費者の会主催「緑のカーテンでエコ生活にチャレンジ」、ヨット・カヌー・手賀沼乗船体験等手賀沼と親しむ企画を実施しました。

(2) 手賀沼基金による助成

我孫子の野鳥を守る会の紙芝居「すずめさんの自然観察」作成の助成をしました。

6. 手賀沼流域フォーラムの協働開催

「行政と協働で事務局を担い、流域団体と連携し、市民の参加を広げます。」について

(1) 事務局体制を強化しました

会計を含め4人と柏市環境保全課で担いました。事務局会議には、フォーラム会長、副会長（共に美手連）をメンバーに入れ、美手連との協働を図りました。

(2) 今年度の参加者数は600名台でした

流域市民の啓発が目的であることから、参加者を増やす仕組み作りが課題です。

7. 学習会・見学会・勉強会の実施について

(1) 21年度総会開催にあたり、「手賀沼は宝物～皆で守り育てよう～」白鳥孝治さんの講演会を開催しました。（前掲）

(2) 見学会

11月13日に20名で土浦市にある里山の宍塚（ししづか）を訪ねました。案内をしていただいた宍塚の自然と歴史の会の笈川ひろみ代表の丁寧な解説に自然と向き合う姿勢が伝わりました。（前掲）

(3) 加盟団体の活動についての勉強会の実施

今年度は3回、9団体が報告し、相互の理解が深まりました。

| | |
|---------------|--|
| 第3回目 7月5日 | 大堀川の水辺をきれいにする会（青木さん） 大津川をきれいにする会（中村さん） 沼南 手賀沼ボランティア会（山木さん） |
| 第4回目 10月4日 | 魚の話（手賀沼水生生物研究会 半沢さん） 水草の話（手賀沼にマシジミとガシヤモクを復活させる会 竹中さん） 協働調査のまとめ（我孫子野鳥を守る会 間野さん） |
| 第5回目 1月11日 | NPOせっけんの街（八鍬さん） 我孫子市消費者の会（和田さん） 生活協同組合「生活センター」（早川さん） |